

病院におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	4~5	被災者は学会で出張中、宿泊していたホテルのベッドで睡眠中、早朝睡眠から醒めてトイレに行こうと立ち上ろうとした瞬間、右肩から床に落下し、右肩は変形していた。	69~	300 499
1	8~9	清掃作業中の部屋の扉を開け、部屋に入る際、清掃用具が扉に引っかかり、前に転んだ。	72~	300 499
1	10~11	厨房にて、野菜を鍋で茹でた後、沸騰した鍋をコンロから後方のシンクに移動させようとした所、手を滑らせて、熱湯が右足・左肘・両大腿にかかり、火傷を負う。	35~	100 299
1	23~24	夜勤中に電子カルテを操作していた際、ナースコールに対応しようとした時、足組みをしていた右足にバーコードリーダーのコードが引っかかり、バランスをくずし転倒し、左臀部から股関節周辺を強打した。	60~	500 999
2	13~14	病院内事務室にて、事務作業を終え椅子から立ち上がろうとしたところ、隣の椅子に足を引っ掛け転倒し、右足首を捻ってしまった。患者を待たせしていた焦りから、本人の不注意で発生してしまった。周囲に視界を遮るものや事故に繋がるようなものは置いていなかった。	38~	1000 9999
3	10~11	特浴室にて入浴介助時、右下肢を軸に介助することが多く、ストレッチャーに患者移乗・移動の際、着用しているエプロンが長く、エプロンの裾を踏んで躓いた。転倒はしなかったが転倒しないように踏ん張ったため、右膝下から下部全体に痺れが生じた。	48~	100 299
		施設内に於いて入所者のおむつ替えをしようと入室した時に、入所者がベッドか		100

3	6~7	ら転落しても大丈夫な様にベッド下に置いてあったマットレスを踏んでしまい滑って転倒した。	62	~ 299
3	11~12	病室で患者様の見守中、入口ドアが開いていることに気付き、閉めようと移動したとき、転倒防止のため床に敷いてあった布団のシーツに足が絡まり転倒し、壁で左肩を打った。	44	100 ~ 299
3	16~17	夜勤のため出勤し、申し送りを受けるためキャスター付き椅子に腰を掛けた時にバランスを崩し、床に座り込んでしまった。その後、立ち上がることが出来ず、夜勤業務を続けられなくなった。	60	100 ~ 299
3	14~15	通所リハビリテーション室において、手作り工芸品を滑車運動器に飾り付けるため、高さ45cmの椅子の上に立ち、取り付け作業を行う。作業終了後、椅子から降りようとした時に足を滑らせ、左側にバランスを崩し転倒し、頭部と身体を保護しようとして、左上肢の手首を受傷する。	63	50~ 99
3	23~24	栄養管理室の調理場内で、粥椀に入れたお粥を患者さんのお膳に乗せようと運んでいる際に、手で3個積み重なるように持っていた粥椀のバランスをくずし、お粥が左前腕にかかり受傷した。	20	500 ~ 999
4	9~10	病棟廊下のカートから洗剤ボトル（約1kg）を運ぼうとした際に手が滑り、左足首に落としてしまい疼痛、腫脹、皮下出血を負った。	46	500 ~ 999
4	15~16	患者様を車椅子に乗せて廊下を移送していたところ、後方のワゴンにぶつかってしまった。ワゴンには空の感染BOXが何個か積まれた状態で、その感染BOXが腰部に当たってしまった。患者を移送中だったため、ぶつかった際に受け身姿勢がとれず、腰に激痛が走りその場から動けなくなり、腰椎捻挫を負った。	32	500 ~ 999
4	10~11	2人でオムツ交換時、病室にてオムツ交換を行った。その後、左側に立ったまま左側臥位に体交を行ったが、患者の右足がベッド柵に当たりそうになったので、右手で患者の膝を支えようとし、ベッド柵の間に右第1指~2指間を打撲した。	62	100 ~ 299
4	9~	患者の配茶準備の為、3F病棟の食堂の流し台でポットから配茶用のキーパーにお湯を入れて、流し台の右側に置いた時にぐらついて、両手で持った時に左側に傾	52	100 ~

	10	いて、左手にお湯がかかり火傷をした。立っていたキーパーの脚が、右側台に置いた時に一つ折れ曲がっていたため左側に傾いた。		299
5	11~ 12	病院内で機械浴の入浴介助清掃後、使用したデッキブラシを隣の浴室に返却しようとして廊下に出たところ、モップの柄に引っ掛かり転倒した。	57	100 ~ 299
5	6~7	病棟デイルームで車椅子の患者様をテーブルにつけた時、左斜め後ろにいた患者様の入れ歯が欲しいと言うジェスチャーに対応しようと身体を左に向け後ろへ下がろうとしたところ、テーブル席の車椅子の車輪に右足ふくらはぎが接触し後ろへ仰向けに倒れ、後頭部を打った。	61	300 ~ 499
5	2~3	訪問入浴を利用している利用者様宅で、入浴後ベッドに利用者様を移動し服を着衣した後、利用者様のベッド上での位置を整える為、頭側から利用者様の両脇に手を入れて引き上げる際にベッド枠に肋骨を打ちつけた。	51	100 ~ 299
6	8~9	高さ60cm程の机の会計窓口で、中腰の状態ですパソコン入力業務を行っていた時、腰を痛めた。	43	500 ~ 999
6	8~9	5F病棟にて、オムツ交換のため1人で病室に入る。患者の右側に立ち、柵を外さずにオムツ交換をした後、体位変換で体位を手前に引き寄せたところ、ベット柵が左胸部（左肋骨）に当たり（バキッという骨折音あり）左肋骨骨折した。	52	100 ~ 299
7	13~14	室内に於いて、同僚とベッドシーツ交換作業終了のため、当該ベッド両側ベッド柵を挿入するため、両手で当該柵を持ち上げた時バランスを崩し転倒、当該柵の上に身体が倒れたために当該柵と床面に抜けなかった左手を挟み負傷した。	63	300 ~ 499
7	15~16	病院地下リネン庫にて、2F放射線科分の病衣補充のため庫内に入り、棚へ向かう際、カゴ（非固定）に立てかけてあった2つ折簡易ベッドが背後から倒れて来て左足踵を直撃した。	64	50~ 99
7	9~10	厨房内の洗浄室において、トレイの洗浄中、洗い用のシンクからすすぎ用のシンクへトレイを移そうとしたところ、15枚程重ねていた別のトレイに当たり、バランスを崩し足の甲に落下し、受傷した。	72	300 ~ 499

7	9~10	事業所病院内において、オムツカートと同僚1名と共に押して歩いていたところ、誤って、カートに足を引っかけて転倒した。転倒する際、右足を捻り、右大腿部を負傷した。	58	~ 299	100
7	9~10	病棟の病室内で患者1名のオムツ交換を終了して動こうとしたところ、その患者のバルーンカテーテルバッグの紐が足首に絡んでいた。歩こうとした際に気付いたが転倒し、別の患者のベッドボードにぶつかり、床に転倒して左肩を強打した。	53	~ 299	100
9	13~14	病院2階の洗濯場から台車にタオルを積んで運ぶ際に、足が台車に引っかかり、躓いて転倒、その際に右手を床について右手首を痛めた。	67	~ 299	100
9	16~17	病室内にて看護師業務を行っていた、車椅子乗車中の患者さんに、クッションを当てようと、室内手摺りに干していたので取りにいった。患者さんの元に行こうとした際、ベットのストッパーに右足を引っかけてしまい、左手を下にして横向きに転倒して受傷した。	70	~ 499	300
9	9~10	病院の厨房において、野菜を切っていたところ、誤って左手の人差し指の爪の辺りを包丁で切った。	23	~ 299	100
9	9~10	肘付き椅子を利用し、収納庫の上に上り、壁に設けてある、月、日、曜日の札をその日の分に取り替え作業で、取り替えを終え、収納庫の上から後向きで降りようと、右足を椅子にかけたが、かけそこねて転落、右背中を椅子の肘で強打し骨折した。	47	~ 499	300
9	13~14	患者用の浴室脱衣所で、入浴後にベッド上で仰臥位になっている患者をタオルで乾かしている時に、患者の足下にあるタオルに対して、ベッドの位置が高い状態があり、タオルを取り除こうと手を伸ばした時に腰から背中にかけて激痛が走った。	33	~ 499	300
9	20~21	病院内西館3階廊下にて患者に用いる容器（ガーグルベースン）を輸送中に躓き転倒、負傷する。	59	~ 499	300

9	14～ 15	一般病棟ナースステーションで机に向かって立ち、右手に電話子機、左手に電話番号一覧を持ち番号を確認していた時に、少し右斜め後ろで移動したところ、丸椅子の足に右足が引っかかり後ろ向きに転倒した、床で臀部を打撲した、その後、仙骨骨折と診断を受けた。	52	100 ～ 299
10	8～9	ベッド上の寝たきりの患者の体を他の看護師と2人介助で、自分の位置より奥へ移動させる時、自分側にあったベッド柵に右胸を強打した。	52	300 ～ 499
11	11～ 12	2F、2B病棟清掃用具用ロッカーに、使用済みモップを片付けていたところ、立て掛けたはずのモップが倒れて来て、右目に当たった。	52	100 ～ 299
11	10～ 11	入浴介助時ストレッチャーからベッドへ移動の際、患者様が点滴をしていたため2人で患者様を担ぎ上げ被災者が点滴を持ちベッド移動をしていたところ、酸素のルートが足に絡み長靴を履いていたため酸素のルートが足に絡んでいるのに気付かず転んでしまい、右膝を骨折した。	49	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html